



☆ ご存知ですか? 「まちづくりガイド」 ☆

この「高知市まちづくりガイド」は、日頃の町内会活動や、新たに会長さんをはじめ役員さんになられた方の活動に少しでもお役に立てばと願い、高知市町内会連合会の協力を得ながら作成したものです。組織づくりや活動の活性化にご活用いただければ幸いです。

地域コミュニティ推進課に取りに来ていただければ、冊子をお渡しできます。またHPにも掲載していますので、必要な場合はダウンロードしてご活用ください。

内容 (一部抜粋)

○町内会活動に関する基本的な情報

- ・町内会とは
- ・運営の基本的な考え方
- ・町内会等への補助金について
- ・町内会等の名義で不動産を登記するには

○町内会等に関するその他のお役立ち情報

- ・自主防災組織をご存知ですか?
- ・ごみステーションについて
- ・ごみ収集について
- ・高知市町内会連合会

一緒にやろうや!

地域活動(ちーかつ)実践セミナーの受講生を募集します!

地域リーダー養成講座をより実践的にリニューアル! 課題解決に向けたゼミ形式の講座に参加してみませんか?

- 開催期間：平成29年8月19日(土)～平成31年3月31日の2年間(全13回)
- 受講料：無料
- 講師：高知大学地域協働学部教員、畠中智子さん、池澤良子さん 他
- 場所：高知大学地域協働学部棟、高知市役所たかじょう庁舎
- 申込期間：平成29年7月3日(月)～平成29年7月18日(火)

※詳しくは地域コミュニティ推進課で配布中のチラシをご覧ください!(HPにも掲載してあります)

第29回浦戸湾・七河川一斉清掃

日時：平成29年7月2日(日) 7:00～8:30
(浦戸・三里地区は6:30～8:00)

- 7月2日(日)が雨天の場合は7月16日(日)に延期となります
- 当日は熱中症やケガにご注意ください!
- 清掃用具等の持参にご協力ください。



今日の地コミくん・地コミちゃん

このコーナーでは地域コミュニティ推進課で働く仲間や仕事の内容を皆さんにもっと知ってもらうため、毎回1名の職員(地コミくん or 地コミちゃん)にスポットを当てて紹介していきます。

第3回の地コミちゃんは、昨年4月、保険医療課から地域コミュニティ推進課に異動してきた『弘光 雪絵(ひろみつ ゆきえ)さん』です。

「一見物静かな雰囲気だけど、実はスポーツやよさこいが好きでアクティブ!」
「何事にもじっくり一生懸命に取り組んでいる方だと思います。」
「着実に仕事を前進できるよう、日々頑張っています。」

雪絵さんが担当する業務は、こうちこどもファンドや、市民活動サポートセンターの指定管理や事業協力、まちづくりファンドの支援を行っています。

地域コミュニティ推進課が入庁2課目ということもあり、慣れないことも多かったと思いますが、堅実な努力を重ね、同僚からも信頼されています。今後も、大好きなよさこいも仕事も頑張ってください!

(後輩 T. U)



まちづくり“一緒にやろうや!”通信

発行 平成29年6月 発行

高知市市民協働部
地域コミュニティ推進課

高知市鷹匠町2丁目1-43
たかじょう庁舎 2階

Tel : 088-823-9080

Fax : 088-824-9794

Mail : kc-102000

@city.kochi.lg.jp

HP : <http://www.city.kochi.kochi.jp/soshiki/21/>



(携帯・スマートフォンからは、こちらのQRコードをご利用いただくとスムーズにアクセスいただけます)



まちづくり

☆通信

2017.6月号

一緒にやろうや!

汗ばむ日が多くなってきましたが、みなさまいかがお過ごしでしょうか。おまたせしました「まちづくり“一緒にやろうや”通信」2017.6月号が完成しました!

高知市では、つながりのある地域づくりを目指して、まちづくりに関する情報や、地域の取組の様子をお届けするとともに、市民の皆さんと協働のまちづくりと一緒に考えていくために本紙を発行しています。

まちづくりでちょっと役に立つ情報や地域内連携協議会の活動状況など、盛りだくさんの内容でお届けしていきますので、今後も、この「まちづくり“一緒にやろうや”通信」を、どうぞよろしくお願いいたします!

こども × 子育て × まちづくり フォーラムを開催します!

本市では平成23年度から毎年、地域のつながりの重要性や地域と行政の協働のあり方などを考える啓発の場として、広く一般市民を対象に「地域コミュニティを考えるフォーラム」を開催しております。平成29年度は、新たな地域活動の担い手の確保・育成につなげていくために、「こども×子育て×まちづくり」をテーマに、若い世代、特に子育て世代やそのこども達を対象としたフォーラムを開催します。

当日は、講演会とパネルディスカッションのほか、「こどもと高知にとって優しいまち・高知」を考えるワークショップを開催します。ご家族やお友達同士の参加も大歓迎です!ぜひ皆様お誘いあわせの上ご参加ください。

日時:平成29年7月30日(日) 9時30分~16時10分

会場:総合あんしんセンター 3階大会議室

【午前の部】 9時30分~12時00分 (定員300名)

・基調講演『地域で育つこどもたち~みんなで子育て・みんなで生きるまち~』

講師: 安藤哲也さん (NPO法人ファザーリング・ジャパン代表理事)

・パネルディスカッション『こどもと保護者がまちづくりに関わる意義』

パネリスト: 安藤哲也さん

安藤桃子さん (映画監督)

卯月盛夫さん (早稲田大学社会科学総合学術院教授)

畠中智子さん (株式会社わらびの代表・とさこタウン実行委員)

田部未空さん (島根県立隠岐島前高等学校2年生・こうちこどもファンド経験者)

参加者には

オリジナルトートバッグを
プレゼント! (数量限定)

【午後の部】 13時00分~16時10分 (定員103名)

・ワークショップ『こどもと家族にとって優しいまち・高知を考える』 ※年代別にワークショップを行います

講師: 卯月盛夫さん、畠中智子さん、畠中洋行さん (こうちこどもファンドアドバイザー・とさこタウン実行委員)

参加対象:小学生~大学生、子育て中のお父さん・お母さん、まちづくりに関する活動をされている方など、興味のある方はどなたでも参加できます。



※事前申し込みが必要です。(受付期間: 6月16日(金)~7月3日(月)) 詳細については市民案内や各ふれあいセンターで配布中のチラシをご覧ください。

※託児あります。(要予約)



2年に1度の、市民会議・連携協議会等まちづくり団体の交流の場

第1部 事例発表&交流会（参加者106名）

- ・高知市のコミュニティ施策（高知市副市長 吉岡 章）

『あてとおまんらあのまちづくり』事例発表

一宮地区（コミュニティ計画推進市民会議）布師田地区（市民会議から連携協議会へ移行）、下知地区（地域内連携協議会）、朝倉地区（連携協議会に市民会議が参加）

- ・交流カフェ（自由に交流）
- ・講演『箭田地区まちづくり推進協議会の取り組み』

講師：箭田地区まちづくり推進協議会事務局長 守屋 美雪

第2部 懇親会（参加者46名）

会場：高知会館 3階 飛鳥

今回は、吉岡副市長始め、多くの市職員の方が参加していただき、全体で100名を超える交流会になりました。本当にありがとうございました。これからも高知市まちづくり未来塾は、地域同士の情報交換の場を提供していきたいと考えています。

新たな

地域内連携協議会が設立されました！

<高知市が認定している地域内連携協議会>
(平成28年度末現在)

19地域 / 41地域中

潮江南地域連合会(通称:みなみ連合)

平成29年2月13日に、潮江南小学校区を活動区域とする地域内連携協議会「潮江南地域連合会（通称：みなみ連合）」が設立され、平成29年2月17日に18番目の地域内連携協議会として認定されました。

4月15日には平成29年度総会が開催され、28年度に実施した「みなみ食堂」の開設や、潮江南小学校児童との避難訓練などについての事業報告や29年度の事業計画などが協議されました。

みなみ連合は、小学校を中心とした、子どもたちへの学習支援や生活支援、地域防災、地域住民の健康増進などの取り組みを中心に、積極的に活動しています。



平成28年度事業の一つ「みなみ食堂」の様子

横浜新町小学校区地域内連携協議会

平成29年3月18日に、横浜新町小学校区を活動区域とする地域内連携協議会「横浜新町小学校区地域内連携会」が設立され、平成29年3月21日に19番目の地域内連携協議会として認定されました。

本格的な活動は29年度からで、「横浜新町ふれあいまつり」や防災フェスタ、地区運動会、マラソン大会など多様な活動に取り組む予定としています。

これまで地区内の1団体や実行委員会で開催してきたものを連携協議会が主催することによって、参加者の増加や地区内の団体間の連携・協力体制の強化を図っていきます。

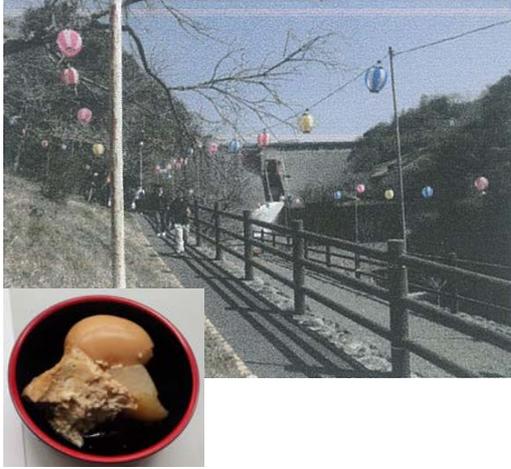


設立総会の様子

鏡地域 連携協議会



おらんちくの
取組 **Do?**
ど お



「これからはオール鏡でいかないかなで」

鏡地域連携協議会の設立にご尽力いただいた、当時の鏡中学校校長の故川谷浩之先生が皆に言っていた言葉です。鏡地域連携協議会は、鏡地域コミュニティ計画推進会議を引き継ぐ形で、平成28年6月に設立されました。

主な活動は、広報紙『かがみづくり』の発行で、毎月の発行を何とか続け、最近では地域の方々の話題によくのぼるようになりました。春には、知る人ぞ知る桜の名所『土佐鏡湖公園』を提灯でライトアップしました。年3回の定例会では、参加団体間で情報共有を必ず行い、地域の課題については、高知市各課から情報提供をいただいたり、『鏡のおでん』（※注）を食べたりしながら・・・と、無理せずオール鏡の活動を続けています。

※注：鏡地域内で作られた大根・卵・こんにゃく・厚揚げのおでん。会議は夜でお腹がすくので企画されたもの。

朝倉第二小学校区地域内連携協議会は、平成27年9月に設立され、これまで地区民運動会や防災講演会、小学校でのもちつきや昔遊び大会など様々な活動を行っています。

28年度の活動の1つに、朝倉第二小学校で歌い継がれている「朝二音頭」を、次世代に受け継ぎ地域住民により広く知ってもらうために、歌をレコーディングしCDを作成しました。今年度は、子どもたちにも親しみを持って踊ってくれるような振り付けを考えたり、DVDの作成を検討するなど普及活動を計画しています。

今後は、各団体の行事カレンダーの作成や視察研修など、地域のみなさんが各団体の行事や活動により参加してくれるような、地域内の連携強化にむけた取り組みを行っていかうと考えています。

朝倉第二小学校区 地域内連携協議会



コラム

全員参加で未来を語る会議～田の字法を使って～

組織の現状や今後について話し合うときに、「自分たちの組織の課題は？」という少し暗い、厳しい側面だけを見てしまい、「あれもできていない、これも不十分だ」といった組織や活動に対するネガティブなイメージばかりが多く出てきてしまうケースがよく見受けられます。また、事務局や一部の人が話し続けるような会議では、大半の参加者が「聞き手」や「受け手」に回ってしまい、全員が参加するような会議になりにくいものです。

そんなときに使ってみてほしい会議法が「田の字法」です。とてもシンプルで全員が参加しやすい会議法で、右の図のような順で参加者それぞれが考え、最後に全体を眺めて議論するというものです。

この順番には意味があり、「明るく話しやすい話題の時間」→「暗く、厳しい意見も出る時間」→「明るく、主体性や展望が開けてくる時間」という展開になり、ポジティブな雰囲気ですべての話し合いに入りやすくなります。

（『市民の会議術ミーティング・ファシリテーション入門』青木将幸著 より）

肯定的な考え

否定的な考え

